

介護、福祉、相続などみなさんの疑問にお答えするコーナーです♪

は～い！！
どうなさいましたか？

教えて！
クロちゃ～ん！！




癒しを求め、家族で京都観光に出かけたら猛暑で大変だった企画室の黒田です…^^;
でも宇治のグリーンティは美味でした！☞

さて、先月号では家族や自身の将来のためにも生前整理はメリットがあるというお話をしました。
今日はこれから生前整理を始めるという方向けに、生前整理を行う方法や注意点についてご紹介します。

①必要なものを分けておく

まずは身の回りの不用品を処分します。決め手は「残したいもの」かどうか。
捨てやすいものから少しずつ、思い出と共に整理します。また、印鑑や重要書類などの貴重品は一カ所に集めておき、後々どこに置いたかがわかるようにしておきましょう。

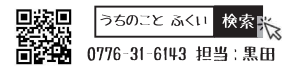
②財産目録をまとめる

預貯金や土地、車などすべてをリスト化し、所在を明記しておきましょう。生前贈与のほうが少ない税金で相続できる場合もありますので、その後は税理士などの専門家に相談することをおすすめします。

③遺言書を作る

財産は遺言書で遺産分割の指示がない限り、法定相続分で遺産が分割されます。
「〇〇にこれだけ相続させたい」という場合は遺言書に残しておくことよいでしょう。

生前整理は家族の負担を減らし、自身のこれからの暮らしも快適にすることができます。
元気なうちに一度人生を振り返ってみるのはいかがでしょうか。



みんなのらくがき帳 ~編集部からの自由コマ~

みなさん、こんにちは！今年は海に3回行き、2回脱皮した松山です（笑）

もともとお酒が大好きで色々な種類のお酒を飲みます。

特にウイスキーなどの洋酒が好きで暑い季節はキンキンに冷やしたジンは最高です！

最近小さな蒸留所で作っている「クラフトジン」というジャンルのものが美味しくて、つい馴染みのバーで頼んでしまいます♪

ご興味がある方、是非お試しください。




発行 TASSAY 「建てる」を応援する会社。 株式会社タッセイ 2018年8月20日発行 Vol.043号

タッセイ通信

「建材」と「愛」をお届けするタッセイの「人柄」を見せる情報誌




三代目奮闘記



皆様、こんにちは！この夏わが家にカブトムシがやって来たタッセイ3代目副社長の田中陽介です。息子の幼稚園の友達が山でいっぱい採れたから！と言って3匹譲ってもらい、毎日とても嬉しそうに可愛がっています。



先日、アイリスオーヤマ 大山健太郎会長（73歳）の講演をお聴きする機会がありました。
父親にがんが見つかり、19歳で社員5名の町工場の跡を継ぎ、たった一代で地方からイノベーションを起こすグローバル企業に成長を遂げた名経営者です。
機能はシンプル、価格リーズナブル、品質はグッド。
そして、人々がより気持ちよく快適に過ごすための「なるほど」をプラスした「なるほど家電」を開発するアイリスオーヤマ。
実は本社は仙台にあるってご存知でしたか？僕は初めて知りました。



特に印象に残った話は、**経営の基本は自社がアドバンテージを持つこと。**
自らのブランドを持ち、自らの商品を作る。といって下請けの仕事を辞めて、良いモノさえ作ればお客様が買ってくれるという「プロダクト・アウト」の考え方よりお客さまや市場に寄り添う「マーケット・イン」を目指すも、東北に大きなマーケットが無かった...
だったら①自らがマーケットを作る②生活者の希望を代弁する③当社の強みを活かす
そんな「ユーザーの視点で、足りないもの」をアイリスが開発すること。
これを大山社長は「**ユーザーイン経営**」と表現して実践してこられました。
日本の大手電機メーカーが苦戦する中、絶好調のアイリスオーヤマを支える戦略です。



この考え方は、建築でも通用しそうな気がしました。
ただ「良い建物を建てます」にとどまらず、お客様の希望を代弁しながら提案し、「ああ、これこそ私の欲しかった建物だ！」と喜んでいただく。
僕も建材屋として、その様に「建てる」を応援していきたい、と強く思いました！

株式会社タッセイ 代表取締役副社長 **田中陽介**



よしだ まさお
名前：吉田 政雄
所属：総務経理部
入社：2 年目
趣味：食べ歩き



タ：新入社員紹介シリーズを終え、今月号は総務経理部部長、吉田政雄さんです！

入社 2 年目には見えませんが…どうしてタッセイに入社したんですか？

吉：前職は銀行員で転勤が多く、北陸以外に北海道や東京、香港など色々な土地に住みましたが（单身生活は通算 14 年 10 か月！）、最後は地元福井に帰りたい！と希望したタイミングでタッセイに出会い入社を決めました。

とにかくきれいな会社で、初めて倉庫を見た瞬間、なんてきれいに整頓されているんだろうと思いました。社内もお手入れがきれいだったり、カレンダーがきちんとめくられていたり、植え込みなどもよく手入れされていたり。

タ：転勤、单身生活から解放されて地元福井に戻ってきたとのことですが、休日は何をしていますか？

吉：妻と娘 2 人、愛犬メル(♂)の 4 人+1 匹家族なんです、

まずは家族孝行をしようと率先して犬の散歩や家事をしています。邪魔者扱いされないように…(笑)

それと最近ランチパスポートを購入して、

妻と県内のいろんなお店を回っています。

町内では役員も任されて楽しくも忙しい休日をご過ごしています。

タ：仲がいいですね～！ちなみに、「これは美味しかった！！」という食べものってありますか？

吉：うーん…一番美味しかったものと言われると難しいですが、北海道積丹で食べたうに丼や

四国の讃岐うどんは美味しかったです！ちょっと遠いですが、機会があればぜひ。

タ：話を聞いているだけでよだれが…(笑)では最後に、今後の抱負を教えてください！

吉：タッセイに入社してから半年で 5kg 以上太ったので、正月に減量を決意しました。

晩酌のビールをノンアルコールにしたり、犬の散歩がてらウォーキングをしたりして今は 1 年前の体重より絞ることが出来たので、キープできるようにしたいです。

また、これまでの人生経験を活かして、経営の補佐役として会社や地域を盛り上げていきたいので、みなさま今後ともどうぞよろしくお願いします！



吉田部長、ありがとうございました！

次回は小浜ハウジング営業部 河原達也さん、出てくれるかな？



営業企画室 松山 Presents

おトクな!? 最新情報をお届け

お役立ち information



みなさん、こんにちは！夏は辛い料理が美味しい季節。ベトナムラー油がマイブームの松山です！コストコなどで販売していますので、興味がある方はお試しください♪

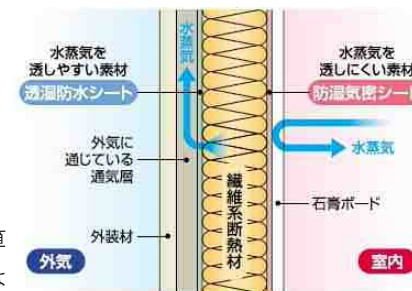
お久しぶりの「お役立ち information」楽しみにされていた方、お待たせしました！

今回は少々マニアックな「壁内結露対策」についてお届けします。

結露といえば、冷たい飲み物などを注いだ際にコップに付く水滴や、冬場窓ガラスに付く水滴を思い浮かべる方が多いかと思います。これらの結露は「表面結露」と言います。実はこのような結露は壁の中や家の見えない部分でも発生するケースがあり、「内部結露」と呼びます。断熱や気密、劣化対策などを考えるときにはとても重要なことです。せっかく高性能で高価格な断熱材を使用しても、結露してしまっただけでは意味がありません。適切に設計・施工を行えば内部結露を防ぐことが可能です。内部結露を放っておくとカビの発生や、木材の腐食、断熱材の劣化の原因になります。

一般的な内部結露を防止する方法を 2 つ紹介します。

①防湿：グラスウールやロックウールなど繊維系断熱材は防湿フィルムを室内側に施工します。防湿フィルムを正しく施工することで湿気が壁の中に入ることを防いでくれます。現場発泡のウレタン吹きつけの場合は内部結露計算を行い、結露しないと判断できれば防湿フィルムは不要です。



②湿気排出：万が一湿気が壁の中に侵入してしまっても

外壁の通気層を使って排出できれば問題はありません。

意外と見落としがちなのが、バルコニーの通気層です。

笠木の施工時に通気層をふさいでいるケースを良く見かけます。

適宜換気部材を施工し通気を行い、湿気を排出するルートを確認しましょう。

今回紹介した対策や結露発生の原因はあくまで一例です。

さまざまな要因で結露は発生します。断熱や劣化対策を設計時に考えるのであれば、内部結露計算ができるの良いですね！

タッセイでは内部結露計算も可能ですし、協力会社様に結露の怖さをご理解頂くためのセミナーも開催しますよ！いつでもご相談くださいませ♪

